

■アメリカ最大の人権擁護団体の 187 万ページにわたる文書がデジタル化！

ACLU (アメリカ自由人権協会) 文書集成 デジタル・アーカイブ American Civil Liberties Union Papers

ACLU(アメリカ自由人権協会)は 1920 年に表現の自由、言論と出版の自由、プライバシーの権利、法の適正手続などの擁護を目的として設立されました。現在の会員数は約 200 人の弁護士を含む 50 万人以上と言われ、アメリカ最大の人権擁護団体として活動し続けています。20 世紀の最高裁の画期的判決の実に 80%に ACLU が何らかの形で関与していた事実が雄弁に物語るように、20 世紀のアメリカにおける人権の歴史は、ACLU なしには成立し得ないと言っても過言ではありません。近年では、LGBTQ の権利、国家による盗聴・監視問題とプライバシー、中絶といった問題や、トランプ政権に対する抗議など、様々な面で活動を展開しております。

本コレクションは、プリンストン大学マッド図書館 (Mudd Library) が所蔵する約 **210 万ページ** の ACLU のアーカイブ資料をデジタル化したものです。ACLU に関連する新聞等の報道記事の切り抜き、スクラップブック、裁判ファイル、メモ、電報、議事録、訴訟記録や、ACLU が発表したレポート、ACLU の幹部や会員が外部団体や人々と交わした書簡、委員会報告など、多様な資料が含まれています。なかでも ACLU が各司法機関へ提出し裁判の判決に大きな影響を与えた意見書「Amicus・ブリーフ Amicus Brief」を多数収録しています。本コレクションをアメリカ法制史にとどまらず、アメリカ史全般に有用な資料集として、お勧めいたします。



FTE	<5K	5K-15K	15K-30K	30K+
American Civil Liberties Union Papers, Part I 1912-1990 Archive 買切価格	価格は弊社までお問い合わせください			
American Civil Liberties Union Papers, Part I 1912-1990 Subscription 年間購読価格				
American Civil Liberties Union Papers, Part II: Southern Regional Office Archive 買切価格				
American Civil Liberties Union Papers, Part II: Southern Regional Office Sub.年間購読価格				

※Archive 買い切りの場合の**年間管理費は不要**です。
 ※バックアップ用 HDD 及び MARC レコードは別売りになります。
 ※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

無料トライアル実施中!! 詳細は弊社までお申し付けください

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
 〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
 075(353)2093 FAX (353)2096
 092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp



The Making of Modern Law: American Civil Liberties Union Papers, Part I: 1912-1990

本アーカイブは、アメリカを代表する人権擁護団体で、20世紀以降のアメリカにおける人権拡張に多大な影響をおよぼしつづけるアメリカ自由人権協会（ACLU）の文書集の第1部です。プリンストン大学マッド図書館等が所蔵する ACLU のアーカイブ資料約 210 万ページをデジタル化し、創設前の時期を含む約 80 年にわたる活動の実態を明らかにします。ACLU が発表したレポート、パンフレット、新聞等の報道記事の切り抜きから、幹部や会員が外国の団体を含む外部団体や人々と交わした書簡、覚書、委員会報告などの内部文書まで、様々な種類の資料が収録されています。

レポートやパンフレットの中には、「裁く者と裁かれる者」「アメリカ人はどのように抵抗するか」「シカゴ警察の秘密拘禁」など、大きな反響を呼んだものもあります。また、「なぜ我々はナチ、ファシスト、そして共産主義者の言論の自由を擁護するのか」のように、ACLU 内でも賛否両論を生んだ声明もあります。また、日本に関しては、米軍軍政下の沖縄の人権問題、軍用地問題、労働問題に大きな関心を寄せる中で発表した声明や勧告も含まれています。

その他、ACLU が裁判に関与する過程で連邦裁判所等の司法機関へ提出した意見書、Amicus・ブリーフ（Amicus Brief）も多数含まれています。Amicus・ブリーフは、裁判の訴訟当事者以外の第三者（Amicus Curiae、Amicus・キュリイ、法廷助言人）が当事者の同意の下、裁判所に対して提出する意見書であり、裁判所が下す判決に直接的な影響を及ぼすことも少なくありません。

ACLU はこれまで連邦最高裁にブリーフを提出し、多くの判決に影響をおよぼしてきました。これらのブリーフとその周辺資料は、ACLU の裁判との関わりの実態を詳らかにするに止まらず、最高裁の判決がどのような影響関係のもとに生まれたのかを明らかにするものであり、20世紀アメリカの司法研究にとって重要な文書です。

The Making of Modern Law: American Civil Liberties Union Papers, Part II: Southern Regional Office

人種差別の撤廃を目的とする公民権法が成立した 1964 年、公民権運動の震源地の一つであったジョージア州アトランタにアメリカ自由人権協会（ACLU）の南部支局（Southern Regional Office）が開設されました。南部支局は人種差別の撤廃を目的の一つとして掲げ、公民権法を武器に各種人種差別措置の違憲判決を勝ち取ります。本コレクションは、南部支局関わった多くの裁判に関する文書のほか、書簡、議事録など南部支局の内部文書など、総計約 65 万ページの文書を収録します。

南部支局の初代支局長には人権派弁護士としてジョージア州の人種差別政策を相手に法廷闘争を展開していたチャールズ（チャック）・モーガンが就任しました。ACLU の歴史の中ではロジャー・ボールドウィンと並ぶカリスマ的人物であったモーガンの下、南部支局は人種差別撤廃の目的を具体化するために、『南部司法制度改革計画（Operation Southern Justice）』と『投票権改革プロジェクト（Voting Rights Project）』の二つのプロジェクトを推進しました。

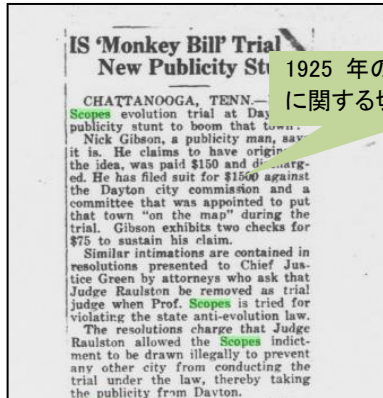
『南部司法制度改革計画』ではとりわけ、陪審員の選定における人種差別を主要なターゲットとして掲げ、黒人や女性を陪審員から除外する制度的障壁を撤廃するために多くの訴訟を起こし、人口の人種構成や性別構成を反映した形で陪審員を選定することを実現しました。また、白人陪審員によって死刑宣告を受けた黒人死刑囚の支援にも当たりました。『リー対ワシントン裁判』では、監獄における人種差別の違憲性を最高裁において勝ち取りますが、これはブラウン判決において法的に実現した公教育機関における人種差別撤廃を監獄にまで拡大したものです。

『投票権プロジェクト』は黒人の有権者登録が白人の妨害を受ける状況の中で、公民権法で保証された黒人の投票権を実効あるものとするために、投票権法制定を求める機運が高まる中で始められました。大規模なデモ（セルマ行進）がアラバマ州で行われるなど、投票権法制定を求める声が高まった結果、投票権法は連邦議会で可決されました。前年の『レイノルズ対シムズ裁判』において、一人一票の原則を示す最高裁判決を勝ち取っていた ACLU は『投票権プロジェクト』において、読み書き能力や投票税の納付など、有権者登録を阻止する制度的慣行を違憲であると訴える一方で、黒人他のマイノリティに対する教育を通して有権者登録の促進に努めました。『投票権プロジェクト』は、南部のマイノリティ、西部やアラスカの先住民の投票の力を弱める幾多の制度的慣行の撤廃に向けて、現在も大きな影響力を及ぼしています。

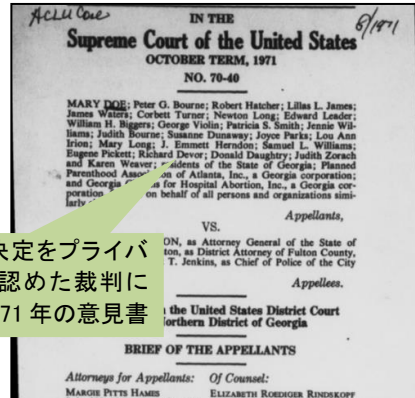
徴兵忌避者への法的支援も南部支局は積極的に取り組みました。ジュリアン・ボンド（公民権活動家）、モハメド・アリ（ボクサー）、ハワード・レヴィ（皮膚科医）らが徴兵を拒否したとき、南部支局は徴兵拒否者側の代理人、法廷助言者として訴訟に関わりましたが、徴兵拒否を純粋な人権問題ではなく政治的な理由に基づく反戦運動とみなした ACLU 本部との間で亀裂が生じました。

アメリカ自由人権協会 ACLUとは

アメリカ自由人権協会（American Civil Liberties Union, ACLU）は1920年に反戦活動家ロジャー・ボールドウィンらにより創設されて以来、言論と出版の自由、教会と国家の分離、信教の自由、法の適正手続、法の下での平等、市民のプライバシーの権利等を擁護することを使命として、人権侵害を受ける個人や団体を裁判の中で支援し、現在では約200人の弁護士を含む50万人以上の会員を有する米国最大の人権擁護団体として活動を続けています。20世紀アメリカ最高裁の画期的判決の実に80%にACLUが何らかの形で関与していた事実が雄弁に物語るように、現代アメリカにおける人権の歴史はACLUなしには成立し得ないと言っても過言ではありません。一方でACLUは、白人至上主義団体やネオナチから共産主義者まで、政治的立場を問わず、米国憲法で保障された権利を擁護しようとするその原理主義的スタンスが時に批判を呼び起こし、政治家が政敵を攻撃する際の格好のシンボルとしても機能してきました。ACLUの歴史は20世紀のアメリカにおける人権拡張の歴史を凝縮しているだけでなく、人権が持つ普遍的な問題群をも浮き彫りにするケーススタディの宝庫です。



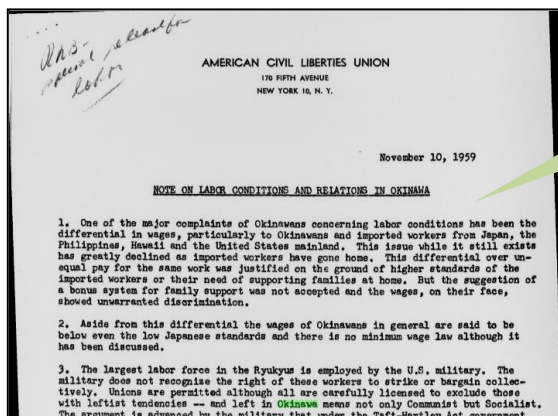
1925年の『スコプス裁判』に関する切り抜き



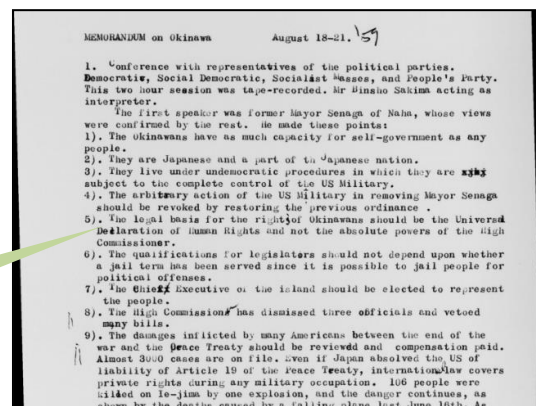
妊娠中絶の決定をプライバシー権として認めた裁判に提出された1971年の意見書

ACLUと日本・沖縄

1947年、当時のACLU代表ボールドウィンが来日し、日本における自由人権協会の設立が示唆され、同年にJCLU（公益社団法人自由人権協会）が設立されました。また、当時アメリカによって統治されていた沖縄の人々の権利の問題は、ACLUとJCLU双方の大きな関心事でした。



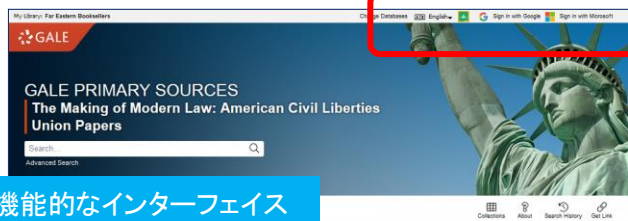
1959年11月10日付の、沖縄の労働条件と労使関係に関する覚書



1959年にボールドウィンが沖縄を視察した際の覚書



文献調査をサポートする最先端のツールを搭載したプラットフォーム



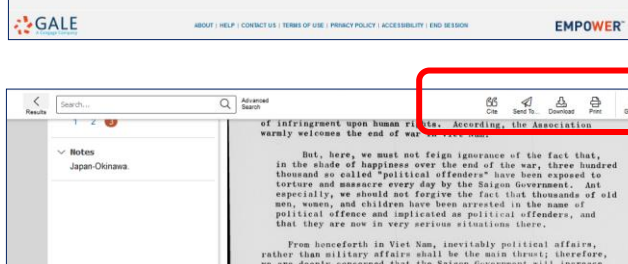
機能的なインターフェイス

Google Drive, Microsoft One Drive アカウントへのログイン機能により、文書保存が可能です



文書画像とOCRテキストを対象表示

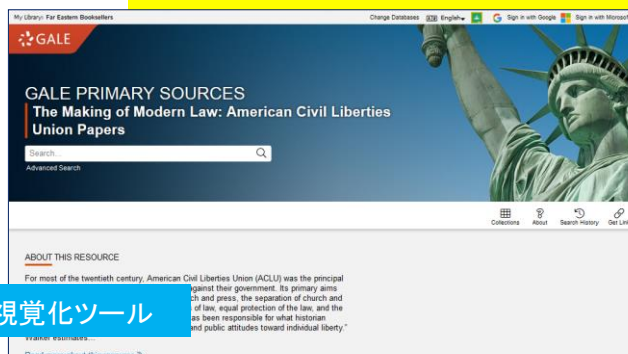
文書のページ単位で文書画像とOCRを対象表示する機能が追加されました



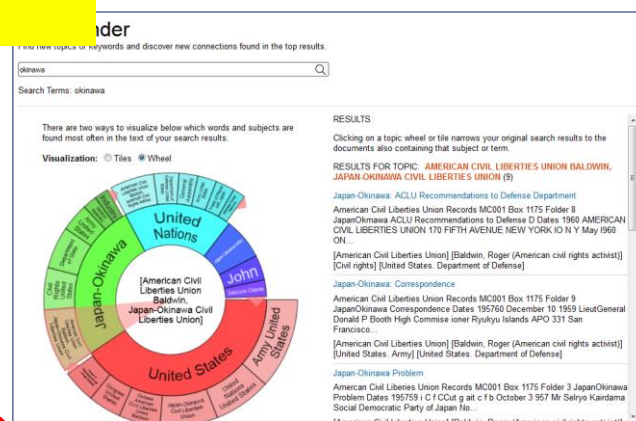
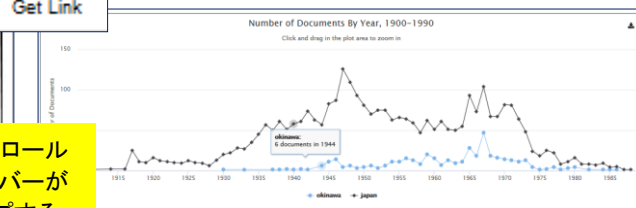
Cite Send To... Download Print Get Link

画面をスクロールしても隠れないツールバー

検索結果表示画面や文書表示画面で、画面をスクロールしても、印刷・ダウンロード・書誌生成などのツールバーが隠れないため、ツールを使うためにスクロールアップする必要がなくなりました



視覚化ツール



単語の時系列での出現頻度をグラフ化する機能 (Term Frequency)、検索語の関連ワードを視覚的に表示する機能 (Topic Finder) を実装することで、通常の検索や閲覧とは異なるアプローチにより、意外な発見に導きます



株式会社 極 東 書 店

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 https://www.kyokuto-bk.co.jp E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp